

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾート創造事業（アーティストインレジデンス事業）	1,500	2,900	1,400				1,500	
トータルコスト	3,098千円（前年度4,514千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	関係市町村・団体等調整、実行委員会参画、補助金事務							
工程表の政策目標(指標)	アーティストリゾートの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

岩美町では、旧岩美病院をアーティストの作品制作のアトリエとして、旧医師公舎をアーティストの滞在施設として整備し、アーティストインレジデンス（滞在型現地制作）ができる環境整備がなされている。

平成22年度に引き続き、県、町、地元住民との協働による実行委員会を設置し、自然をテーマとした展示会をアーティストインレジデンスにより開催することとしており、その開催経費の一部を支援する。

2 主な事業内容

事業内容	○レジデンス（アーティストが岩美町に滞在し、作品創作現場を公開） ○展示会（テーマは山陰海岸ジオパークなどにつながるような自然を想定） ○ワークショップ（レジデンス期間中に学校と連携して実施）
実施主体	アーティストインレジデンス実行委員会（仮称） 〔体制〕 アーティスト（作品創作・交流会、ワークショップ実施等） 地元住民（創作活動支援ボランティア等） 岩美町（施設無償貸与、事業費支援、事務局運営） 鳥取県（事業費支援）
概算事業費	3,000千円 〔財源内訳〕 鳥取県 1,500千円 岩美町 1,500千円

3 これまでの取組状況、改善点

平成22年3月には、文化庁の地域文化芸術振興プラン推進事業を活用して、岩美町に国内外からアーティストを招聘して、国際現代美術展を開催し、県内外から約13,000人の観覧者があった。

また、平成22年9月には、引き続き県と町の負担金により、国際現代美術展を開催し、約6,500人の観覧者があったところ。

平成23年は、海外からの招聘アーティストと地元のアーティストや陶芸家等と連携した事業内容とし、アーティストリゾートの展開を促進するとともに、地域の文化芸術の推進を目指す。